

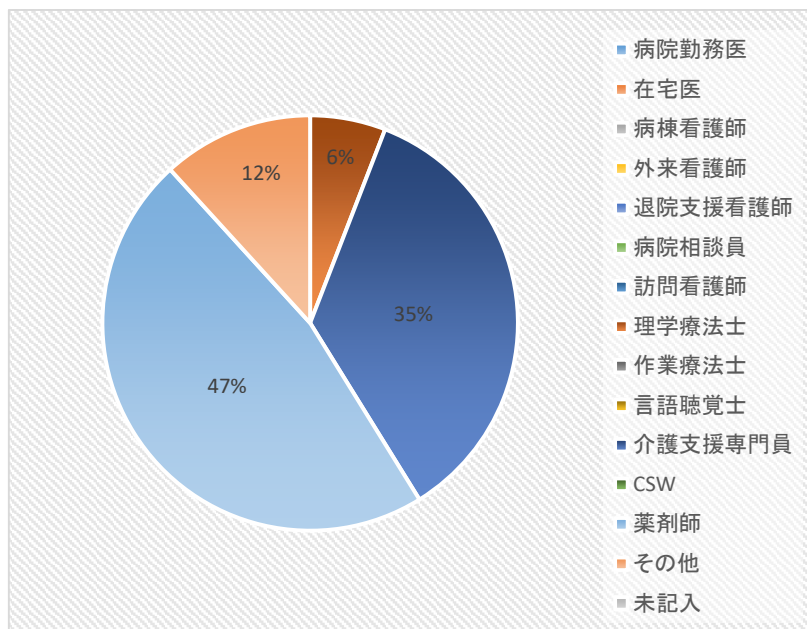
令和3年度 大阪府在宅医療移行研修

日 時: 令和4年2月3日(木)・5日(土) 場 所: Zoomオンライン開催 時 間: 14:00~16:00

参加者: 27名(1日目25名・2日目18名) アンケート回収率: 62%

1. 職種

病院勤務医	
在宅医	
病棟看護師	
外来看護師	
退院支援看護師	
病院相談員	
訪問看護師	
理学療法士	1
作業療法士	
言語聴覚士	
介護支援専門員	6
CSW	
薬剤師	8
その他	2
未記入	



その他
管理栄養士

2. 在宅医療にまつわる地域の医療資源や連携方法について理解できましたか。

在宅医療や医療機関との連携について

理解できた	17
どちらともいえない	
理解できなかった	
未記入	



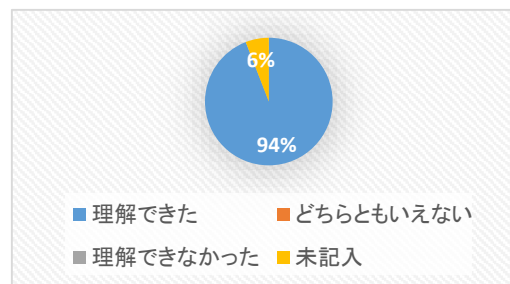
薬局、薬剤師の役割や連携について

理解できた	17
どちらともいえない	
理解できなかった	
未記入	



管理栄養士の役割や連携について

理解できた	16
どちらともいえない	
理解できなかった	
未記入	1

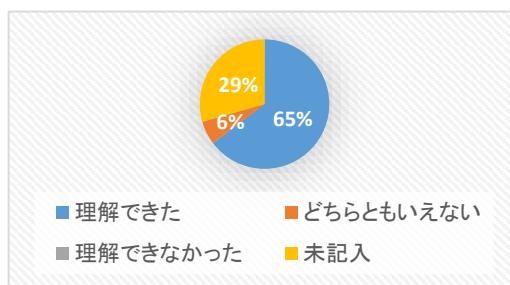


未記入コメント

・演者の為、回答を控えます

訪問看護師の役割や連携について

理解できた	11
どちらともいえない	1
理解できなかった	
未記入	5



理解できなかった部分はどこですか？

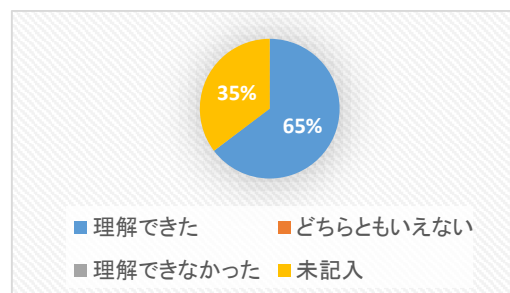
・音声小さかった。スライドでまとめていただきたかった。

未記入コメント

・1日目しか参加できなかった。

訪問リハビリの役割や連携について

理解できた	11
どちらともいえない	
理解できなかった	
未記入	6



未記入コメント

・1日目しか参加できなかった。

3.在宅医療や医療・介護連携に関して困ったことや課題があれば、具体的に教えてください。

- ・施設入所で関わりが途切れる。看取りまで関われない。福祉用具貸与の場面でケアマネージャーとリハビリ専門職の関わりがあればより暮らしにあった環境が提案できる。
- ・なかなか関わる機会に乏しいため、今回のような機会が非常に勉強になりました。
- ・「医療と介護の連携シート」を主治医に送っても返信が無い場合、困っています。
- ・医師に直接会うことに対して引け目を感じます。いつが都合良いのか分かれば助かります。
- ・薬剤師が在宅医療に関わることによって、どのようなことができているかを知って頂けていないことが課題としてあります。服薬コンプライアンスを向上させること、副作用を早期に発見し未然に防ぐことなど、薬剤師の職能を理解して頂くため、連携の大切さを実感いたしました。
- ・今回、参加させていただき、また事前にケアマネの方からアンケートにご協力いただいたりするなかで、窓口すらわからない状況であったのかとまだまだリハビリ専門職について啓発できていないことがわかりました。多職種との連携も不十分であると感じました。今後も出ていた課題に対して一つずつ解決していきたいと思います。
- ・訪問栄養食事指導について、該当患者様や利用者様が少なく、サービス内容も浸透していない事により、利用開始日までの流れや具体的にどんな事をしてくれるのかなど多職種や患者様にご興味を持って頂ける段階になるまでが課題。
(コロナ禍ではありますが、直接訪問や案内書、研修会で対策中)
今回貴重なご機会頂きましてありがとうございました。
- ・患者でも介護にまったくアプローチできていない独居の高齢者もいれば、逆に医療にまったくたどりつけていなかった要介護者もいたりするので難しいケースがある。
- ・CMからの連絡はお忙しいので迷惑だと思っていたが、先生から具体的に方法を教えてもらえて良かった。
これからも連携をお願いします。
- ・お忙しい中、貴重なお話を聴かせて頂きありがとうございました。医療ニーズの高い方、認知症の方など、在宅での生活を継続するために今後もっと連携が必要になってくるので、とても勉強になりました。
連携加算(50単位)をもっと高く評価していただけると更にありがたいと思います。
- ・先日、院内処方で一包化できないクリニックがあり、一包化可能な薬局へ処方箋をFAXして頂ける様依頼したら「FAXはできない」と言われ、薬局への処方箋のお渡しができないので、ヘルパーの訪問時間では薬の受け取りができず、結局飲み残しのリスクがありながら、服薬を継続しています。
- ・1日目だけの参加で申し訳ありません。三浦先生、辻内先生、武山先生の貴重なご講演をありがとうございました。
実際に在宅での支援内容を具体的にご報告下さり、よく知ることができました。